

平成22年度 事業報告

岡山理科大学専門学校

建築と動物、そして魚のスペシャリストを養成。学生、保護者、高等学校、地域及び関連業界の皆様へ支持される学校を目指します。



「使命」

専門学校の使命は言うまでもなく、有為で即戦力となる卒業生を輩出することにあります。専門的な技術や知識の習得、検定や資格の取得をさせることと、人としてバランスの取れた人材の育成に力を注ぐことを、本校の「使命」とします。

「方針」

学校教育基本法の第三条に、「・・・学習の成果を適切に生かすことの出来る社会の実現が図られなければならない・・・。」とあります、われわれ教育に携わる者は何のために、誰のための教育であるかをしっかり認識する必要があります、それらを履行しなければならない責任があります。

教育は、社会にとって有益でなければなりません。これまで岡山理科大学専門学校ではそれらのことが最大限に活かされるよう頑張ってきました。今後も、今まで培ってきたノウハウを基に「教育をカタチ」にしたいと考えています。

岡山理科大学専門学校 校長 小林 正文

教育並びに施設の充実

■きめ細かい教育

チューター並びにサブチューターを中心とした教職員が学生個々を把握し、専門技術の習得はもとより、学生とのコミュニケーションを密にとりながら学習意欲の維持、メンタル面のサポート、就職活動の啓蒙等から満足度の高い学生生活のサポートを行いました。学生、保護者に対して専門教育の重要性並びに青年期の精神面や思考等について、学生対象の講演会も行いました。

■産官学連携の教育

昨年真庭市と締結した包括教育協定をもとにして動物系学科で「温泉入浴の動物に対する生理活性効果」の研究や、建築学科においては「温泉街の活性化プラン（例）」の提案などを実施し、本校と自治体との連携による共同研究および教育を実施しました。

これまでの動物の温泉入浴実験では、入浴後唾液アミラーゼ値は上昇し、5分以後低下していくなどストレス負荷状況が判明してきました。次年度は更に、入浴条件及び環境を変えての調査研究を継続して、皮膚や関節炎など疾病治療に繋がりたいと考えています。さらに、岡山県、岡山市が開催する動物愛護フェスティバルに積極的に参加する等をして、動物愛護啓蒙運動に参画しました。アクアリウム学科においては、企業との受託研究を積

極的に展開しながら、各種の実験データから実用的な水生生物の飼育・繁殖の学習を実施しました。

■男性用トイレの充実

老朽化した2校舎の男子トイレは全面的に改装し、明るく清潔感のある空間に創り変わりました。

■学生相談用応接室の整備

3校舎に学生の学習指導や個人面談ができる専用の個室を設け、教職員と学生のコミュニケーションを取りやすい環境を整えました。

■カウンセラーの配属

従来、精神的な悩みを抱えた学生は岡山理科大学等が招聘したカウンセラーに相談をしてまいりましたが、潜在的に悩みを抱えた学生も多いことから、本校に専門のカウンセラーを定期的に招聘し、学生並びに教職員の心の問題解決の糸口にしたと考え、今年度より専門のカウンセラーを招聘しました。前期終了時までには13件の相談があり、学生のケアに努めることができました。今後も悩みなどがある学生の早期問題解消に繋げるため、できる限り利用するように呼びかけ、次年度も継続し学生生活の充実に努めます。

教職員の意識改革

■自己点検、自己評価 FD・SD

専任教員並びに非常勤講師教員を対象に実施している授業アンケートの結果を踏まえ、より良い授業が展開できるよう授業の改善指導を実施しました。

専任教員の授業担当時間を精査し、各職員の職位及び校務分掌を考慮し、教員の均等化を図りました。また、自己研鑽ができる時間を創出するよう配慮しました。

また、事務職員の対応及び施設設備等についてアンケートを実施し、学生の満足度アップに繋げ

るよう事務を改善しました。

教育環境の充実を高めるため、今年度も専任教員にアンケート調査を実施し、学科教育や学生生活に繁栄させていきます。

■コスト意識

人件費、光熱水費、教育・研究用消耗品について有効活用を図り、事ある毎に合理化、節約について啓蒙し、エコ教育に繋げるよう実施しました。

特に、電気使用量については節約を呼びかけ、効果をだしています。今後は屋上緑化の計画もあり、学校全体で検討していく予定です。

22年度新設学科・コース

■動物看護学科 3年制

職域の多様化と高度医療に対応できる動物看護師を養成して行くとともに、動物看護師の制度化（国家資格化）に対応するため、平成22年度より従来の2年制コースに加えて、3年制のコースを併設し、更に充実しております。

動物看護師は犬や猫等の小動物が家族同様に終生飼育を図ることとなったため、獣医療の外に幅広い専門技術と知識を備えることが求められています。高度医療臨床検査室など、施設充実により、3年制教育への対応を図ります。また、岡山県畜産研究所とインター実習の協定を締結するなど、職域の拡大に対応をできるようになりました。

学科創設関係

■新分野の学科創設準備

動物系の学科を立ち上げて8年が経過いたしました。今後とも発展が期待されるペット業界ではありますが、景気低迷等の影響から、近年苦戦を強いられております。

今後の理専の繁栄を期して、既存の分野とは全く異なる分野への進出を検討しました。

新学科の構想および検討会を外部関係者を交えて定期的に行ない、専門分野での情報収集をおこないました。

■学校周辺の地元を対象とした学校見学会

本校の教育内容を知って頂くことにより、更なるご理解・ご協力を賜るため、地元の方々を対象とした学校見学会を夏季に実施し、今年度9月に周辺地域住民との交流会を開催し、約40名の方が参加しました。本校の教育内容や方針について理解を示していただきました。

学生募集

■オープンキャンパス参加者の増加を図る

各種媒体やメディアの活用並びに一斉高校訪問を実施し、オープンキャンパス開催告知を充分に行い参加者増を図り、参加者は昨年度比 100.5%の参加である。

■きめ細かいフォロー

資料請求者、オープンキャンパス参加者へのきめ細かいフォローを実施し、受験率アップに結びつけることができました。

入試結果は全学科（専攻科・研究科含めて）全体で昨年比べ106%増になりました。

■メディア・地域へアピール

本校のトピックス、イベント等を積極的に新聞社、テレビ局への報道依頼を展開しました。また、自治体等の行事、イベントに参加し、地域の方々に対して、学校の教育内容などをアピールしました。また、岡山駅一番街通路の広告ブースが通行人から注目されるよう演出にも力を入れました。特に、今年度はテレビや新聞などメディアを活用し、番組「夢をかなえる加計学園」においては3.8%の視聴率を得ました。この結果、オープンキャンパスおよび入学者は若干増になったと考えられます。

■広報強化地域

建築、動物系において学生確保が期待できる地域を中心に積極的にメディア、高校訪問、説明会を駆使し広報活動を展開してまいりました。

広報業者との連携により、動物系及び建築系に興味のある高校域をリサーチ、分析してこれまでに受験していない高校などへも足を運び、積極的に説明会や体験授業を行なったことなどが、受験率アップに繋がったと考えます。

就職活動支援

■就職活動ガイダンス

1年生：7月 インターンシップの注意事項
11月 進路選択について
12月 情報収集と企業へのエントリー
3月 履歴書、面接について

2年生：6月 内定礼状の書き方

積極的に学生を参加させ、就職に有利になるように指導しました。

■就職支援

1年生の12月の段階で進路の希望調査を行い1月より第一希望の分野を決定していきました。動物系においても一般企業を希望する者は2月より直ちに就職活動を開始させ、学生の満足度の高

い企業への就職を目指すよう指導しました。動物系専門職への就職は3月以降のインターンシップへの参加により、第一志望への内定獲得を目指しました。

また、学生の就職意識啓蒙に係る人的増員と、就職相談を気軽にできるよう就職相談室への在中時間を設定しました。

新たに、就職先の改革を積極的に行ない、学生就職支援を行ないました。また、卒業後も就職や資格に伴う支援を強化しております。

今年度も建築系において、100%の学生が就職を早々と決定しております。動物系においても大方の学生が決まり、学校全体で94%の学生が就職先へ決めました。日本国全体で景気が悪く、東日本震災の影響などがあり、内定取り消しになった学生などを支援しながら、新しい就職先を開拓し、継続している状況です。

主な行事

4月 8日	入学式
4月12日	授業開始
7月20日 ～ 8月31日	夏季休暇
9月 6日～10日	前期末試験
10月 1日	後期授業開始
12月23日 ～ 1月 6日	冬期休暇
2月 1日～ 7日	後期末試験
3月20日	卒業式

学生・教職員数

■在籍学生数

(平成22年5月1日現在)

課程・学科名		入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
工業 専門課程	建築学科(昼間部)	40	42	110	70
	建築学科(夜間部)	20	10	40	24
	福祉住環境デザイン学科 (募集停止)	—	—	—	—
	計	60	52	150	94
商業実務 専門課程	映像情報学科 (募集停止)	—	—	—	—
	計 (募集停止)	—	—	—	—
文化・教養 専門課程	動物看護学科 3年制	30	—	—	—
	〃 2年制	20	43	110	82
	トリミング学科	40	33	80	64
	ドッグトレーニング学科	40	39	80	77
	アクアリウム学科	40	34	80	74
	計	170	149	350	297
文化・教養 一般課程	トリミング学科 (募集停止)	—	—	—	—
	ドッグトレーニング学科 (募集停止)	—	—	—	—
	アクアリウム学科 (募集停止)	—	—	—	—
	計 (募集停止)	—	—	—	—
合 計		230	201	500	391
建築学科専攻科		10	8	10	8
動物系総合学科研究科		10	15	10	15

(単位:人)

■卒業生数等一覧

(平成22年度)

区分	卒業生	就職希望者 A	就職者 B	就職率 B/A	進学者	退学者・ 除籍者	休学者	留年者 ※
岡山理科大学専門学校	199	157	148	94%	31	33	5	1

※ 修業年限を超えて在籍している学生数(平成23年4月1日現在)

(単位:人)

主な就職先	荒木組、トヨタホーム岡山、開成建設、池田動物園、島根県立しまね海洋館アクアス 岡山県動物愛護センター、日出美動物病院、津山獣医科病院、ペットサロン他 139
-------	---

■教職員数

(平成22年5月1日現在)

校長	副校長	教員	教員 計	事務職員
1	0	11	12	11

(単位:人)

財務関係

■消費収支

(単位:千円)

科目	年度	22年度 決算額	前年度 決算額
学納金収入		335,147	317,996
補助金収入		356	444
その他収入		5,048	5,938
帰属収入合計		340,551	324,378
基本金組入額合計		△ 3,750	△ 547
消費収入の部合計		336,801	323,831
人件費		206,051	212,427
教育研究経費		85,290	91,464
管理経費		30,895	35,599
その他支出		2,201	2,434
消費支出の部合計		324,437	341,924

■施設設備整備計画（抜粋）

(単位:千円)

事業名	金額
2校舎男子トイレ全面改修工事	2,970
4校舎1階ピロティ排水工事	200
第3アクアポンプ・クーラーの上屋	1,200
動物看護実習用 流し台設置	850
平行定規（製図台）	1,580
5.5 t水槽クーラー	427
ディスカッション顕微鏡	360
実験机2500×1400	400